

Cente Technical Information

発行番号	002-0009	Rev	第1版	発行日	2012/07/05
題名	IPv6アドレスのDAD(重複検査)が、設定された回数を見逃してデフォルト回数実行されることがある				
情報分類	障害情報				
適用製品	<ul style="list-style-type: none">•Cente IPv6 Ver.1.00 - Ver.1.43•Cente IPv6 SNMPv2 Ver.1.00 - Ver.2.13•Cente IPv6 SNMPv3 Ver.2.00 - Ver.2.13				
関連資料	なし				
<p>【該当するユーザ環境】 以下の条件を全て満たすユーザ。 ・getParam_IP6dad()をデフォルトから変更して使用している。 ・IP設定を変更するためにelap_stop()、elap_start()を連続して呼び出している。</p> <p>【障害内容】 機器を起動させた状態のまま自IPアドレスの設定などを変更する際、elap_stop()、elap_start()を呼び出していただいています。このとき、elap_start()により再度プロトコルスタックを起動させた際に、IPv6のDADがgetParam_IP6dad()で設定した回数ではなく、デフォルトであるNDP_DUPADDR_DETECTだけ実行されることがあります。</p> <p>【発生理由】 elap_stop()、elap_start()を連続して呼び出した場合、getParam_IP6dad()を呼び出して設定内容を取得するタスクより、その値を使ってDADを実行するタスクが先に動作してしまうことがありました。</p> <p>【回避方法】 回避には、ソースコードの変更が必要です。 (変更箇所については、営業担当またはsupport@cente.jpまでお問い合わせください。)</p> <p style="text-align: right;">以上</p>					